

袈裟丸山山行報告（平成 28 年 5 月 21 日（土））

東京（杉並）5：20＝自家用車＝8：05 折場登山口 8：15－9：25 賽の河原 9：35－10：25 小丸山 10：35－10：50 避難小屋－11：40 前袈裟丸山山頂（1,878m）12：10－12：55 避難小屋－13：10 小丸山 13：15－14：05 賽の河原 14：10－15：00 折場登山口 15：15＝自家用車＝18：30 東京（杉並）

袈裟丸山は栃木県と群馬県の境にある山で、特にシロヤシオなどツツジの花とシャクナゲの花が多いことで知られている。10 年も前から行ってみたいと思っていたがなにせ交通の便が悪すぎる。今回自家用車で行く計画があるというので、便乗することにした。

当日は朝 5 時 20 分に杉並を出発、早朝の東京はさすがに空いていて、練馬から関越高速を順調に走る。その後山道に入るとくねくねとした道を行き 8 時 05 分に折場登山口に着いた。駐車場はあるのだがすでに満車となっており、路肩にたくさん留まっている。幸い登山口から近い場所にスペースがあったのでここに止め、8 時 15 分に登り出した。

最初は木段の急斜面だが一登りするとゆるやかな新緑の中の道となる。ヤマツツジの朱色がちらほらするがまだつぼみが多い。それでも登っていくうちに、シロヤシオやトウゴクミツバが現れ出す。まもなく前方の視界が広がると大きな谷の縁に出てその縁を登って行く。谷間を登り切ると、尾根手前の緩やかな平地に着いた。ここが「つつじ平」らしいが実にツツジの大群落で、主にトウゴクミツバの紫色で染まっている。ツツジのトンネルをくぐり抜け、広い緩やかな斜面の尾根道を歩いて 9 時 25 分賽の河原に着いた。

賽の河原は石がゴロゴロしており、塔ノ沢コースとの合流点になっている。10 分ほど休んで先に進むと相変わらず緩やかな尾根道とツツジの林が続く。10 時 25 分小丸山に着くと、山頂は樹が無く見晴らしが良い。日光方面の男体山や白根山が良く見え、皇海山や庚申山も手が届きそうである。一休みした後先に進み、10 時 50 分に小さな避難小屋に着いた。しばらく平坦な道を行くと、いよいよ前袈裟丸山への登りとなる急登が始まった。もうツツジは無いが、シャクナゲの花が出迎えてくれる。まだつぼみが多いが一部咲いているものもある。この登りは一番きつかったが、頑張っって笹の原を登り切って 11 時 40 分前袈裟丸山（1,878m）に着いた。山頂は開けていて周りの木陰に多くの人が休んでいる。見晴らしは良いのだが遠くは霞んでしまっている。ゆっくりお昼を食べて 12 時 10 分下山した。

来た道に戻り、急斜面を気を付けて下り 12 時 55 分避難小屋を通過、そのまま進んで 13 時 10 分小丸山に着くが手前の斜面にはアカヤシオがかなり残っていた。同じ道でも行きと帰りでは感じが違い、またもツツジの大群に感心しながら 14 時 05 分賽の河原に着いた。一回見たはずのツツジでも再度感心しながら歩くので、ゆっくりの歩きとなり時間がかかった。15 時 00 分駐車場に着くと、朝沢山あった車もだいぶ少なくなっていた。15 時 15 分駐車場を出発し夕方なので多少渋滞したが、18 時 30 分ごろ杉並に着いた。

（伊藤）



ツツジのトンネル



袈裟丸山をバックに



色とりどりに



前袈裟丸山